

令和7年度 県立いろは中学校学校経営

経営の基底

- 1 公教育の本質に立つ教育を推進する。(教育基本法, 学校教育法, 学習指導要領, 県の方針等)
- 2 学齢経過者の年齢, 経験又は勤労状況その他の実情を踏まえた中学校教育を推進する。
- 3 県内初の夜間中学として, 他県の先行事例を基に改善を図りながら, 本県の実態に即した教育を推進する。

めざす人間像

自らの可能性を発揮し, 多様な他者と協働しながら, よりよい社会と幸福な人生を切り開く力を備えた人

めざす学校の姿

- 1 様々な年齢, 異なる国籍や文化をもつ生徒が, 互いを理解し, 認め合い, 安心して学べる学校
- 2 生徒一人一人に寄り添いながら対応し, 自己肯定感を高められる学校
- 3 生徒の「学びたい, できるようになりたい」という思いに応え, 学ぶ喜びを実感できる学校
- 4 生徒のよさや頑張りを積極的に発信し, 県民への理解を図り, 希望と夢を与える学校

教育目標

いろは中学校に誇りをもち, ともに学ぶ喜びを感じながら, 新たな自分を切り開く生徒の育成
～行き(生き)がいのある学校～

めざす生徒の姿

- 自他の価値観を大切にできる生徒
 - 学校生活を楽しみ, いきいきと学ぶ生徒
 - 自分に合ったやり方で自分のペースで最後までやりとげることができる生徒
- <卒業時>
- 義務教育段階の学びに納得した生徒

めざす教師の姿

- 1 生徒のこれまでの人生や, これからの夢や希望を尊重し, 生徒とともに学び続ける教師
- 2 生徒の学校生活の状況やニーズについて, 日頃から把握に努め, 生徒に寄り添いながら, 対応できる教師
- 3 生徒の学習状況に応じた学習内容や指導方法を工夫する教師
- 4 心身ともに健康で, 明るく職業感に燃える教師

経営方針

- 1 「安心・安全な生活環境の確立」
人権教育は全ての教育の基本との認識の下, 協働的活動, 体験的活動等を通じて, 互いのよさを発見する機会を設けるとともに, 多様な価値観を尊重することができるようにする。
- 2 「自立した学習者の育成」
生徒の学習の実態などに配慮しながら, 指導体制を工夫するとともに, 柔軟かつ多様な学習形態や学習活動を導入することで, 自分にふさわしい学習方法を見つけられるようにする。
- 3 「今, 考えられる最善の方法の模索」
生徒の学習状況について学校職員で情報交換を頻繁に実施し, 生徒の実態に基づき, 教育内容・活動, 指導体制等について, 年度途中であっても, 躊躇なく改善する。
- 4 「キャリア教育の充実」
本校の強みである, 人生経験・職業経験の豊富な生徒のキャリアを生かし, 自己肯定感を高めるとともに, 社会とのつながりを意識した教科指導及び教育活動を展開する。
- 5 「持続可能な学校の創出」
生徒の学習活動の成果を積極的に発信し, 生徒の自己肯定感を高めるとともに, 県内の学び直したいという意欲を持っている方に対して周知を図る。

重点目標

豊かな心

多様な価値観を認め, 自他のよさを発見できる生徒

- 自己の人生経験や職業経験を発揮する機会と他者に学ぶ機会の確保
- 個に応じた, 体験活動や協働的な活動の推進
- 学校行事及び生徒会活動の企画運営への参加
- 生徒の頑張りをHPで発信することによる, 自己肯定感の高揚

確かな学力

自ら課題を見だし, 自分に合った方法で解決に向かうことができる生徒

- 複数体制での授業, 始業前や長期休業中を利用した補充学習機会の確保
- 一人一人の習熟や学習状況を踏まえた指導の改善
- タブレット端末のリテラシー習得と効果的な活用
- 仕事などで授業を受けられなかった生徒への授業配信

健やかな体

心身の健康的な社会生活を確立できる生徒

- 生活リズムを確立するための特別活動・道徳等の充実
- 全生徒への, 教職員からのあいさつや声かけの実施
- 機を逃さない教育相談及び心の教育推進委員会の実施
- 生徒の状況について, 日常的な情報共有とSCの活用

研究テーマ

- 夜間中学の組織, 指導体制の在り方について(基礎的研修)